

8色カラー版画（昭和教材）



カラータック紙の版画の作品例です。

のりもインクも使わずに多色刷りができるカラー版画です。

今回はカッターナイフとはさみで作成しましたが、手でちぎって作成することもでき、小児や低学年でも安心して作成できます。



使ったのは「昭和教材」の商品です。

《作り方》

①今回は我が家の愛犬をモデルにしました。白黒で拡大コピーをして準備をします。



②色のついた紙を切り取り、台紙に貼り付け、判を作ります。



黒いが多かったのでそこから始めました。 服のキリン柄の黄色部分



*少しずつ出来てきました。余白が多いところにも何かしら追加していき、判の完成です。



- ④添付の刷り紙を水につけ、すぐに取り出して新聞紙で余分な水気を取り、準備しておきます。
- ⑤判の上に刷り紙を乗せ、上から押さえると刷り紙に判の色が写ってきます。
- ⑥少し剥がして刷り具合を確認。色が薄いところは指で押さえます。
- ⑦台紙から刷り紙を剥がし、乾燥させてできあがり☆
- ④～⑦を繰り返します。



《 1 回目の作品 》

色がくっきりでています。



《 2 回目の作品 》

刷り紙の水が多く、ぼやけてしまいました。

- *あまり小さな図柄は写りにくいので、小さくなりすぎないように気を付けた方がいいです。
- *刷るときには水分が多くなりすぎないように気を付けましょう。図柄がにじんで写ります。
- *紙の湿りが少なすぎると、判のインクが刷り紙にくっついてしまうので気を付けましょう。
- *ベテランの方からアドバイスをいただきました：色紙にクレヨンで書いておくとその場所だけ色が写らず、また違った作品ができるということです☆

※同様の工程で『誠文社の7色カラータック紙版画』『アーテックのカラータック紙版画セット』も制作できます。